

養護老人ホーム 母来寮

1 基本方針

利用者の尊厳を大切にし、安全で安心できる良質な福祉サービスの提供に努め、自立した生活を支援する。

また、地域に開かれた福祉施設として、地域の中で連携・交流に努め、地域の皆様に親しまれる施設を目指す。

2 利用者の状況（令和8年3月31日現在）

（1）入退所の状況

定 員		前年度末 利用者数	令和7年度中の入退所状況						利 用 延人員	年間平均 稼 働 率	年 度 末 利用者数
			入所	退所	退所理由別						
					家庭 復帰	施設 移管	契約解除 (入院等)	死亡			
124 人		120 人	34 人	29 人	0 人	10 人	6 人	13 人	42,189 人	93.21%	124 人
6年度	124 人	117 人	32 人	29 人	2 人	6 人	10 人	11 人	41,058 人	90.72%	120 人

（2）利用者（特定施設入居者生活介護）の介護度別人員

性別	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	定員
男性	3 人	1 人	7 人	9 人	4 人	1 人	1 人	26 人	75 人
女性	4 人	3 人	11 人	17 人	7 人	3 人	1 人	46 人	
計	7 人	4 人	18 人	26 人	11 人	4 人	2 人	72 人	

（平均介護度 1.85）

3 事業の実施状況

（1）安全で安心できる良質な福祉サービスの提供

ア 利用者の意思と人格を尊重し、集団生活の中においても幅広い選択肢を提供できる環境づくりに努めた。常に利用者の立場に立った支援と個別対応の徹底により、生活の質の向上を図った。また、感染症対策を講じ、感染拡大の防止に努めた。

イ 自立支援の視点に立った支援計画を作成し、利用者の多様で複雑なニーズに対応するため、総務・事務、生活相談、介護・支援、医務・看護、栄養・調理の各職種が連携し、サービス提供を行った。

ウ 利用者が自立した日常生活を送ることができるよう、機能訓練等を実施し、心身機能の維持・向上と介護予防に努めた。

エ 介護が必要となった利用者には適切な介護サービスを提供するとともに、要介護状態の変化に応じて、より適した施設への移行支援を利用者及び家族と連携して行った。

（2）地域との連携及び交流の促進

ア 地域清掃活動に参加し、地域住民の一員として地域貢献に努めた。

イ 地域行事（町の敬老祝賀会等）に利用者が参加できるよう支援したほか、地域と協同で開催するグラウンドゴルフ大会に参加し、地域住民との交流を深めた。

ウ ボランティア体験実習や看護専門学校の高齢者コミュニケーション実習の受入体制を整備し、中学生との交流も実施した。

(3) 経営効率化への取り組み

ア 各市町村及び関係機関と密接に連携し、入所依頼から入所までの手続きを円滑に進めることで、欠員の迅速な補充に努めた。また、家庭復帰や施設移管による退所についても、関係機関や家族の意向を踏まえ、養護老人ホームとして適切に対応した。

イ 昨年度より実施している入居者との直接契約による「契約入所」は、措置控えの影響により低迷している措置入所者数を補完し、稼働率の向上に寄与した。

また、今年度新たに1市町村と措置契約を締結し、受け入れ自治体を拡大することができた。その結果、養護老人ホームの入所稼働率は93.20%となり、目標の92%を達成するとともに、前年度の90.72%から改善した。特定施設については稼働率90.49%と、目標の92%及び前年度実績の91.94%を下回ったものの、稼働率の改善に努めた。

なお、市町村事業である生活管理短期宿泊事業については、一部市町村の入所制限の影響もあり、稼働率は11.67%と目標の21%を下回ったが、入所待機時の活用等により前年度実績の8.44%を上回り、利用促進を図ることができた。

(4) 人材の育成

ア 施設と職員が面談し個人目標を設定、個人研修計画を策定した。その計画に基づき内部研修を実施し、必要な知識やスキルの習得に努めた。また、オンライン動画研修サービスを導入し、多様な研修ニーズに対応した。

イ ストレスチェックや虐待防止チェックシートの結果を分析し、メンタルヘルス・接遇・人権に関する研修を開催し、職員の意識啓発を図った。

ウ 介護支援専門員等の資格試験・研修受講費補助制度等の情報提供を行い、職員の資格取得を促進した。

4 実習、ボランティアの受入状況

(1) 実習の受入実績

実習受入先	受入期間	実人員	延人員
倉吉総合看護専門学校	R7. 10. 6～R7. 10. 9	6 人	24 人
鳥取県職員（新規採用職員職場体験研修）	R7. 9. 10～R7. 9. 11	2 人	4 人
湯梨浜中学校 福祉委員会	R7. 12. 10	10 人	10 人
合 計		18 人	38 人

(2) ボランティアの受入実績

クラブ活動指導（延べ 16 人）

5 付帯事業

短期宿泊事業 定員 併設4名

年度	実人員	延人員
令和7年度	11 人	171 人
令和6年度	6 人	124 人

